

- 問1 夏の北海道の太平洋沿岸において、寒流の影響で湿った空気が冷やされることにより発生し、日照時間の減少や気温が上がりにくくなる原因となっている気象現象を何といいますか。 (2025年 群馬県公立入試 類似)
1. 季節風 2. 濃霧 3. 線状降水帯 4. やませ
- 問2 1899年に制定された北海道旧土人保護法が廃止され、アイヌの人々の民族としての誇りを尊重し、その伝統や文化の保存・振興を図ることを目的として1997年に施行された法律の名称を答えなさい。 (2023年 長野県公立入試 類似)
1. 北海道開発法 2. アイヌ新法 3. アイヌ文化振興法 4. アイヌ民族支援法
- 問3 日本国内の農産物統計において、北海道が全国の収穫量の100パーセントを占めており、主に砂糖の原料として利用される農作物はどれですか。 (2016年 山口県公立入試 類似)
1. さとうきび 2. じゃがいも 3. こんにゃくいも 4. てんさい
- 問4 北海道の自然環境と産業に関連して、網走市や知床半島の沿岸で見られる冬季の自然現象と、その海域の特徴について説明した文として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2025年 群馬県公立入試 類似)
1. オホーツク海に面しており、夏になると南東からの湿った季節風によって流氷が再び発生する。 2. 日本海に面しており、暖流の影響で冬も海水温が高いため、流氷が接岸することはない。 3. オホーツク海に面しており、冬に押し寄せる流氷がプランクトンを運ぶため、豊かな漁場が形成される。 4. 太平洋に面しており、親潮（千島海流）の影響で一年中流氷が漂い、大規模な稲作が行われている。
- 問5 北海道において、スマート農業が他地域に先駆けて積極的に推進されている理由を、土地利用の状況と社会的な背景から考察した説明として最も適切なものはどれですか。 (2021年 宮城県公立入試 類似)
1. 山間部が多く機械の導入が困難なため、ICTによる遠隔操作が唯一の手段であるため 2. 高齢者の割合が全国で最も低く、新しい技術を操作できる若者が過剰に存在するため 3. 広大な経営面積に対して従事者が不足しており、省力化の必要性が極めて高いため 4. 小規模な農地が密集しているため、ドローンを使わなければ肥料が隣地に飛散するため
- 問6 北海道の知床半島のすぐ東側に位置し、択捉島、色丹島、歯舞群島とともに、日本固有の領土でありながら現在はロシアによって法的根拠なく占拠されている島を何というか。 (2019年 岡山県公立入試 類似)
1. 歯舞群島 2. 国後島 3. 色丹島 4. 択捉島
- 問7 北海道の知床半島を含む東部地域では、夏季に「濃霧」が発生し、視界が悪くなったり気温が上がりにくかったりすることがあります。この霧が発生する仕組みについて、海面を流れる潮の流れ（海流）と季節風の関係を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2026年 島根県公立入試 類似)
1. 日本海から吹き込む湿った季節風が、暖流である対馬海流によって冷やされることで発生する。 2. 太平洋から吹き込む乾いた季節風が、暖流である黒潮（日本海流）によって温められることで発生する。 3. 太平洋から吹き込む湿った季節風が、寒流である親潮（千島海流）によって冷やされることで発生する。 4. オホーツク海から吹き込む冷たい風が、陸地の熱によって上昇気流となり、雲を作ることによって発生する。
- 問8 北海道の道東、太平洋沿岸に位置する釧路市周辺の夏季の気候について、気温が上がりにくい理由を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2021年 宮城県公立入試 類似)
1. 周囲を高い山々に囲まれた盆地特有の地形により、夜間に冷え込んだ空気が日中も地表付近に滞留し続けるため。 2. 北西から吹く乾いた季節風が、大雪山系を越える際にフェーン現象を引き起こし、雲を消し去ってしまうため。 3. オホーツク海高気圧から吹き出す冷たい風が、山地にぶつかって上昇気流となり、内陸部に大量の降雨をもたらすため。 4. 南東から吹く湿った季節風が、寒流である親潮の影響を受けて冷やされ、霧が発生して日照を遮るため。
- 問9 日本の各地域の農業を比較した統計において、北海道は農業従事者一人あたりの農業産出額が約1570万円となっており、他地域の平均である約310万円と比べて極めて高い数値を示しています。このような北海道の農業を支える背景として最も適切なものはどれですか。 (2024年 福岡県公立入試 類似)
1. 都心に近い立地を活かし、限られた土地に多くの労働力を投入して単位面積あたりの収益を上げる集約的な農業を行っている。 2. 傾斜地の多い地形を活かして段々畑を作り、果樹などの高付加価値な作物を少人数で栽培している。 3. 気候が温暖であることを利用し、ビニールハウスなどの施設を用いて他の地域より出荷時期を早める促成栽培が主流である。 4. 農業従事者一人あたりの耕地面積が非常に広く、大型の機械を導入することで生産性を高めている。
- 問10 北海道の道央部に位置し、広大な石狩平野の中に広がる北海道の道庁所在地について、その都市名と特徴を説明したものとして正しいものはどれですか。 (2025年 茨城県公立入試 類似)
1. 釧路市は、道東地方の石狩平野に位置する道庁所在地で、霧が発生しやすい気候を利用した乳牛の飼育が盛んである。 2. 札幌市は、道庁所在地として政治・経済の中心地となっており、冬には石狩平野の積雪を利用した「雪まつり」が開催される。 3. 函館市は、道南地方の政治の中心地であり、青函トンネルを通じて本州との結びつきが強い道庁所在地である。 4. 旭川市は、石狩平野の南端に位置する道庁所在地で、周辺では大規模な稲作が行われている。
- 問11 日本の酪農において、北海道は大消費地から離れているという地理的条件に対応するため、生産された生乳の多くをある形態に変化させて出荷しています。この形態と、その主な製品の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2016年 秋田県公立入試 類似)
1. 地場消費用 ― ヨーグルトや生クリーム 2. 加工用 ― バターやチーズ 3. 飲用 ― 牛乳やコーヒー牛乳 4. 輸出用 ― 脱脂粉乳や練乳
- 問12 北海道における二〇〇五年から二〇二〇年にかけての農業統計では、農業経営体の総数が五百四十七から三百四十九へと大幅に減少する一方で、団体経営の数は三十五から四十三へと増加しています。また、経営耕地面積の合計は大きな減少を見せていないため、一経営体あたりの面積が拡大しています。このような北海道農業の動向を表す言葉として最も適切なものはどれですか。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
1. 農業経営の大規模化 2. 近郊農業の展開 3. 減反政策による生産調整 4. 二毛作による土地利用率の向上